

南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありません**、同じ市民同士の生の意見として参考までとしていただきたいと思います。**正式な指針は政府**が出します、そちらにしたがう事で各種補償も受けられます。どうぞその点を誤解なきようお読みください。

編集・発行 NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
今まで協力いただいた先(判明している所のみ):長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ 配布協力避難所:新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか

新聞 PDF 置場 <http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html>

京都の図書館と南相馬市の今 東北の関西人

被災者と被災地で働く全ての人々がまた普通の生活に戻れますように。 2011-06-25

<http://ameblo.jp/morimarion/entry-10934278556.html>

今日、京都の図書館に行ってきました

京都では震災被害者は市民でなくても図書カードを発行してくれます 軽めの本を3冊借りてきました

家探しや仕事探しの時にも行ったけど家は大型犬がいるとオールアウトで仕事は募集もしてなかったから京都に来て初めて行政にお世話になった形です

やっぱり頼れるのは国より知人友人家族ですね

南相馬市は緊急時避難準備区域から外されそうですが、でも外れたからと言って仕事が元通りになるはずもなく、ただ、補償が受けられなくなるだけの改正です

とりあえず、京都でがんばります

福島と京都を行ったり来たりの生活になるかもしれませんが今は仕方ないとあきらめています

行政、しっかりして下さい

みんなを元の生活に戻して下さい

暑い日が続きます

避難所暮らしの方々、どうか体をお大事に…

#####

南相馬の中学生の現状 ありがとう

被災者になって学んだこと、考えたことなどを毎日かいていきます。大変だけどありがとうだけでも忘れないでいよう。

2011年06月24日(金)23時56分43秒

<http://ameblo.jp/kanasanndoo/entry-10933623629.html>

ブルー生活真っ只中なキャナです。

今日、オーディションして2つしか合格できず…実力の差なんだろうなと、かなり実感。

ああ、明日にはすんばらしい声になってないかな～。

それはともかく。

今日、もと学校から電話がありました。

内容は修学旅行のことについて。

やっぱり参加させることができない。

とのこと。

最初から除外されていたことが悔しい。

理由(言い訳)付きで言われてしまいましたよ。

さて、皆さんにお訊きたいのですが、どうですか、この教頭。

あと校長。

この二人が頑張れば私たち、修学旅行と卒業アルバムもらえたと思うのですが。

要は責任負いたくないわけですね。

私、こちらの学校に通っていたときに言われました。

「人のことを考えて行動しなさい。そして弱虫になるな」

そのままそっくりお返し致します、原一。

今の貴殿方は上(行政)のお偉い方となんら変わりはありません。

政府のことをよく口にしていたのですが、その前に自分を見直してください。

告白してしまいますと、私は友達2人と共に合唱部を作っていただけないかと校長にお願いしにいったんです。

何日もかけて。

でも話もあまり聞かずに頭から怒鳴られました。

担任にも。

一年生のときにも先生方に(校長以外の)言って見たのですが、教頭にとおすわけでもなく断られましたよ。

それでそういうことが新聞に載ったら血相かえて来ました。

いじめを助けない。

(その時の対処だけです)

まだまだたくさんあるんですが。

悪い事実。(ここに書いたら危ない話など)

何せ不良学校でしたからね。
先生も生徒のこと考えていた人が何人いたか。
機嫌悪いからって何度怒られたか。
お気に入りを作る人もたくさんいました。

私、吹奏楽やめただけでいじめ(の手前)られましたからね、先輩と先生に。

……すみません m(_)_m。

書きすぎました土下座。

暴露しすぎてすみません。

でも一回バッシング受けるべきだと思いますよ。

逮捕された先生いるようですし。

(噂ですが信憑性大有りです)

私は修学旅行行けなくてもいいと思ってるけど、アルバムはせめて欲しいんですよ。

一年間しかないアルバムは正直、あまり必要ではないんですよ。

何回も書くけど友達いない訳だし。

いたとしても多分、知り合いです。

だから私に、私たちに最後に思い出が欲しいんです。

私はもう、多分戻れません。

母に経済的な大きな負担をドカンとかけた以上それを無駄にするわけにはいかないんです。

それに合唱がある以上。

私がここに来たのは

『いじめられてもいいし、友達がいなくてもいい。だからせめて合唱だけはさせて欲しい』

と母にお願いしたからなんです。

その覚悟は今でもちゃんとあります。

だけど受験が始まった瞬間から仲の良い人たちともう会えないことになりました。(原町メンバーとは会えますがね、時々帰りますから(^o^))

でもそんなとぎのために、揺らがないように一生残る記念が欲しい。

喉から手が数本でるくらいに。

#####

南相馬市から6月24日夜 サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を営んでいます。新鮮な話題をお届け！ 2011-06-24 19:28:23

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/513299c8c72335e48d7d08e9960f6ba2>

今日は、原町中央青果市場の役員会がありました。地物野菜の出荷が激減していますし、買参人が少なく特にスーパーの買い上げがまったくない状態では売上は期待出来ず、大苦

戦中です。ただ農家の人達の多くが野菜作りを再開していて、7月になると野菜の出荷量が増えそうだ、との事ですが、買う業者がいらない状況では、値段がどうなるか心配です。ただ店先では地物野菜は残念ながら売れていません。消費者にしてみれば、出荷制限が解除になりました。と言ってもどこの場所を畑を作物を調べたのかが分からないわけですから、この地域の野菜はみんな出荷しても良いですよと言われても、心配ですよ。じゃあ分からないなら食べないでおこうと、言うことになってしまいますよね。でもそこにビジネスチャンスがありますよね。この農家のこの畑で作りましたと野菜の放射線を調べて公表して販売するしかないですね。畑の土の放射線量を測り公表し、取れた野菜の放射線を測りすべて公開して安全、安心を消費者の方に判断してもらい、購入していただくことです。それを実践しインターネットで販売しているという人と今日話をしました。福好再見が今日、横浜でのイベントに出かけましたが、そのイベントの仲間の一人ですが、彼はこの震災で自分の会社が潰れかけましたが、どうせダメになるのなら最後に困っている被災地の人たちの為に何かできないかと、なげなしのお金を支援物資に変えて被災地に向かったそうです。そこでボランティアをしながら、多くの友人を作っていくうちに、今のビジネスを考え実行しているとの事です。食物の放射線を測る機械の販売から簡易な機械から新しい機械の開発までも今やっているようです。やはり行動しなくては何事も始まりませんね。行動していろんな人と会い気づき、夢や希望や目標を見つけそれに向かって実行、実践する。いちばんダメなのは、やりもしないのに、口先ばかりで、否定するばかりで、行動しないことですね。行動すれば、動いていけば、人が集まり、共感を呼び、輪が大きくなり生きがいになります。人間はそうでなくてはなりません。たった一度の人生、原発に負けていられるか。ピンチをチャンスに変えましょう。

南相馬市から6月26日朝

2011-06-26 05:36:55

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/2e6494c11aede1c411388b968d4607a3>

南相馬市の復興策、どんなものが出てくるのか？いままでのこの地域の特性、いわき市と仙台市の中間にあり、ある意味不便な地域性を生かしての町作りがこれまでされてきました。しかし、原発の放射能の影響が続く環境の中で、出ていく企業はあっても、入って来る企業ははたしてあるのでしょうか？あるとすれば、国の研究機関(環境関連施設)を誘致するしかないのかな。

お山のとっぺんの企業なり施設を誘致しその関連企業なり研究機関が周辺に張り付くような仕組みを用いて裾野の広がり

のある経済活動を促進させこの地域を活性化させていくしかないのかな。

放射能汚染の廃棄物処理場、瓦礫の処理場、太陽光発電、人体への放射能影響の長期調査機関などすべての環境関連に特化して世界でも類を見ない人類の環境問題を研究し処理を実践していく地域として、世界中に有名になってしまった、福島原発から福島環境特化地域としてのイメージチェンジをはかりたいものです。

ハローワーク、混んでいます、職を失った人たちが多く集まっているようです。ある企業が求人を出しています。でも人が集まりません。

どうしてか聞きにいったそうです。今この地域の失業している人たちは失業保険と仮払保障金、義援金などの収入？があり今すぐ生活には困らないので、今しばらくこの地域の動向、本当にここにいていいものか、ここで仕事をしていけるのかなど、先がわからないから、模様眺めの状態で、求人があっても躊躇しているようだとの事です。心配なのは勤労意欲が落ちている事だそうです。

南相馬市から6月26日夜 2011-06-26 19:53:15

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/b52fb610863345cea62a6323ec6bb4e5>

福好再見 横浜での復興イベントの様態ユーチューブで見ましたが、多くの人で賑わっていましたが、売れたかな？朝の話では、まだ半分売れていないと言っていたので、少しは安くしてでも売ってしまえと言っておきましたが、まだ報告はありません。朝はNPOの最後のお弁当注文250個が入っています、朝4時半作業開始ですが、無事横浜から帰ってくれることを祈っています。

最近、福好再見を通じて若い人たちの行動や考え方を見ていたり聞いたりしているうちに、自分の考えに間違いや疑問が生まれてきました。決定的だったのは、福島市の若い経営者と話をした時でした。市場の役員会でも、商店会の集まりでも、農家や商業者の私の年代以上の人達の集まりでの話では、今回の災害、震災での国や行政の対応の事や、規制や制約の中での事業の在り方、国や県、市への要望や要請、そうしたことが解決していかないと事業が出来ないとの思い、責任探し、などなど結局自分もお客さんの方を見ていたのでは無く、国や行政を方ばかりを見ていたと気づきました。しかし、今の若者たちは違います。国に頼るのでは無く、お客さんが何を求めているのかを見極めて、自分たちが出来ることは何か、規制があろうがなかろうが、国がしてくれるのを待っているの

では無く、自分達で正しい情報を集め、公開し賛同してもらい、それを商売につなげていく。上手くは言えませんが、自分も革新的な考えでやってきたつもりでしたが、どうやら勘違いしていたようです。時代は変化しているのに気付かなかったようです。自分も概念に取りつかれていたようです。ツイッター、フェイスブックに代表されるように今やインターネットでの情報やり取りの時代です。それを使えないものは、どうやら生き残ってはいけないようです。しかしまたそこに中小零細企業でも生き残っていけるチャンスがあることに気づかされました。イノベーション、今こそ変革しなければ、古いもの、いらぬものを捨てる勇気を持つことこそが、新しい事への挑戦が成功する一歩になるようです。頑張るぞ。

#####

私は癌になってもかまわない …

負けてらんない！みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2011-06-24 21:50:41

<http://blog.goo.ne.jp/minamisomashi-hinan/e/Oa388d8a577471cb00e4f8c3bf0b5df0>



「ただちに健康に影響を及ぼす量ではありません」

「ただちに避難の必要はありません」

政府やマスコミは

放射性物質が検出されるたびにくり返してきました。

「ただちに」って … どういう意味ですか？

「体外被曝」って … 何ですか？

「体内被曝」って … 何ですか？

「体内蓄積」って … 何ですか？

「しきい値(閾値)」って … 何ですか？

「食物連鎖による放射能濃縮」って … 何ですか？

強い雨と風がありました。

加えて テレビからは地震と津波の注意報です。

原発の汚染水はあふれそうです。

いや ジャジャ漏れでは …。

パニックは
人々が 本当のことを知らされないところで起こるものです。

せめて せめて
福島県内の学童は
急いで 学童疎開をしなければならぬのではないですか？

10年後 20年後 50年後のために …。
歴史的な判断誤りを思い知らされないためにも …。

私は
放射能汚染食品を食べます。
食べるしかありません …。
放射能汚染水を飲みます。
飲むしかありません …。

私は この歳ですから
癌になってもかまわない … と思っています。
癌になっても仕方ない … と思っています。

ちなみに
私は
上海市癌学校の専任講師を務めています。

<原町区>6月26日の活動報告！

南相馬市災害ボランティアセンターのブログ

2011-06-26 12:22:13

<http://ameblo.jp/minamisoma-svc/entry-10934989388.html>

本日も活動お疲れ様でした！雨降りの週末になってしまい、
沢山お越し頂いたボランティアさんには、屋内での活動を行
っていただきました。

今現在、少し雨は止んでいますが、これから雨季に入ると、
このような日が増えていくのかもしれません。

屋外でのニーズが急がれます。

しかし、植物には恵みの雨かもしれませんね！

そんな、今日の活動者数は131名(県内20名、県外111
名)ニーズ件数 9 件 でした。

明日6月27日(月)の募集内容ですが ☆活動件数 11
件120人程度のボランティアさんが必要です。

☆活動内容 流出物の洗浄・展示 避難所の運営補助 食

器棚の組み立て 仮設住宅用布団の希望者受付・運搬 物資
の仕分け作業 泥出し作業 となっております。

注)あくまで6/26(日)に受け付けた件数です。翌日6/27(月)
に新たに依頼を受け増える場合もあります。また、当日予定人数に達
した場合は受付を終了させていただく事もあります。できれば早い時
間に受付していただけるとありがたいです。どうかご了承ください。

明日の天気予報ですが、くもり。最高気温は22℃のよう
です。肌寒い日が続きます。

活動は安全面から長袖で！とお願いしていますが、来週は、
重ね着をした方がいいかもしれません。

相変わらず、屋内はむしっとしていますので、水分補給な
どもお気を付けてください。

さて、昨日からいつもの「ブログの人」も、今日は「総務リー
ダー(Twitterの中の人)」もお休みです。

私は久しぶりに筆をとらせて頂いている、県外からの運営ボラ
ンティアです。

そんな私目線からのひとことで、今日は終わりにしたいと思います。

私が初めてこのボランティアセンターに来た時、運営スタッ
フの方に「ボランティアセンターは人と人をつなぐ場所」と言わ
れたのを、今でもよく覚えています。

自分たちの手だけではとても処理きれない家事のある地元
の方が居て、その様な方々は、いったいどのようなことにお困
りなのか。

そんなニーズに対し、「何かお手伝いがしたいけどどうした
らいいのかわからない」毎日毎日、野外や屋内で、汗を流す
沢山のボランティアさん。

彼らをいかに、スムーズに誘導できるか、また、いかに、沢
山の方にお越しいただくように働きかけられるか、ここは、その
ような、「人」と「人」を繋ぐ場所なのです。

継続してお越しになる多くの県外の方々、地元の方との
つながりの中で、個人的なボランティアへ移行していかれる
方も、少なくありません。

まったく知らない他人同士。

「心」と「心」が繋がる瞬間を、沢山目撃してきました。

これから、災害ボランティアから、復興ボランティアへ、どん
どん形を変えていくであろうとおもいます

より、多くの方の支援が、地元の復興への力になってくれる
ことを、そして、このボランティアセンターが、たくさんの人た
ちを繋ぐ場所であり続けてくれることを願ってやみません。

それでは、明日も、よろしくお願ひ致します！

#####